

「三陸沿岸道路」現場探検ツアー開催のお知らせ
～親子で工事現場の最前線を見学・体験～

仙台市から気仙沼市をとおり八戸市に至る「三陸沿岸道路」は、気仙沼市内でもトンネルや橋梁等、着々と工事が進んでいます。この度、気仙沼市（主催）と仙台河川国道事務所（共催）で、夏休みの思い出に親子でトンネルや橋梁の工事最前線を見学・体験していただく現場探検ツアーを開催しますので、お知らせします。

・現場探検ツアーに参加される親子を募集します。

1. 日 時：平成 27 年 8 月 5 日（水）9：00～12：00（予定）
2. 見学場所：気仙沼湾横断橋（延長1,344m）の河川内（大川）の施工状況を見学後、発破掘削作業中の気仙沼 2 号トンネル（延長1,167m）で発破の音圧を体感
3. 集合場所：海の市 駐車場（宮城県気仙沼市魚市場前7-13）・・・**別紙-1**参照
※集合時間 9 時
※現場見学は当方にて準備したマイクロバスにて移動いたします。
4. 募集対象：小学生と保護者
※気仙沼市在住の方に限定させていただきます。
5. 募集人数：親子ペア 10 組
※応募多数の場合は抽選となります。
6. 募集期間：平成 27 年 7 月 21 日（火）～平成 27 年 7 月 28 日（火）
※電話、ファックスまたはメールで下記申込先までお申し込み下さい。
※ファックス・メールでお申し込みの場合は、住所、氏名、年齢と学年、小学校名、電話番号を必ず記載して下さい。
※土・日は、電話での受付は行っておりませんので、ご注意願います。
※応募多数の場合は抽選となり、7 月 30 日（木）に応募者の方々に事務局から結果を連絡させていただきます。
7. 申込み先：気仙沼市役所 三陸道・大島架橋・唐桑最短道・本吉バイパス整備促進課
「三陸道現場探検ツアー事務局」あて
TEL : 0226-22-6600 内線 566
ファックス：0226-23-7756
Eメール : project@city.kesennuma.lg.jp
8. その他
・見学場所の内容について・・・**別紙-2**参照
・雨天決行ですが、台風や大きな地震などの場合は中止いたします。
※中止の場合は、前日までに電話連絡をいたします。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、気仙沼記者クラブ〉

問い合わせ先

《現場探検ツアーに関すること》

気仙沼市役所 三陸道・大島架橋・唐桑最短道・本吉バイパス整備促進課

TEL 0226-22-6600
課長 佐藤 邦彦（内線 565） 主幹兼係長 及川 勉（内線 566）

《事業に関すること》

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

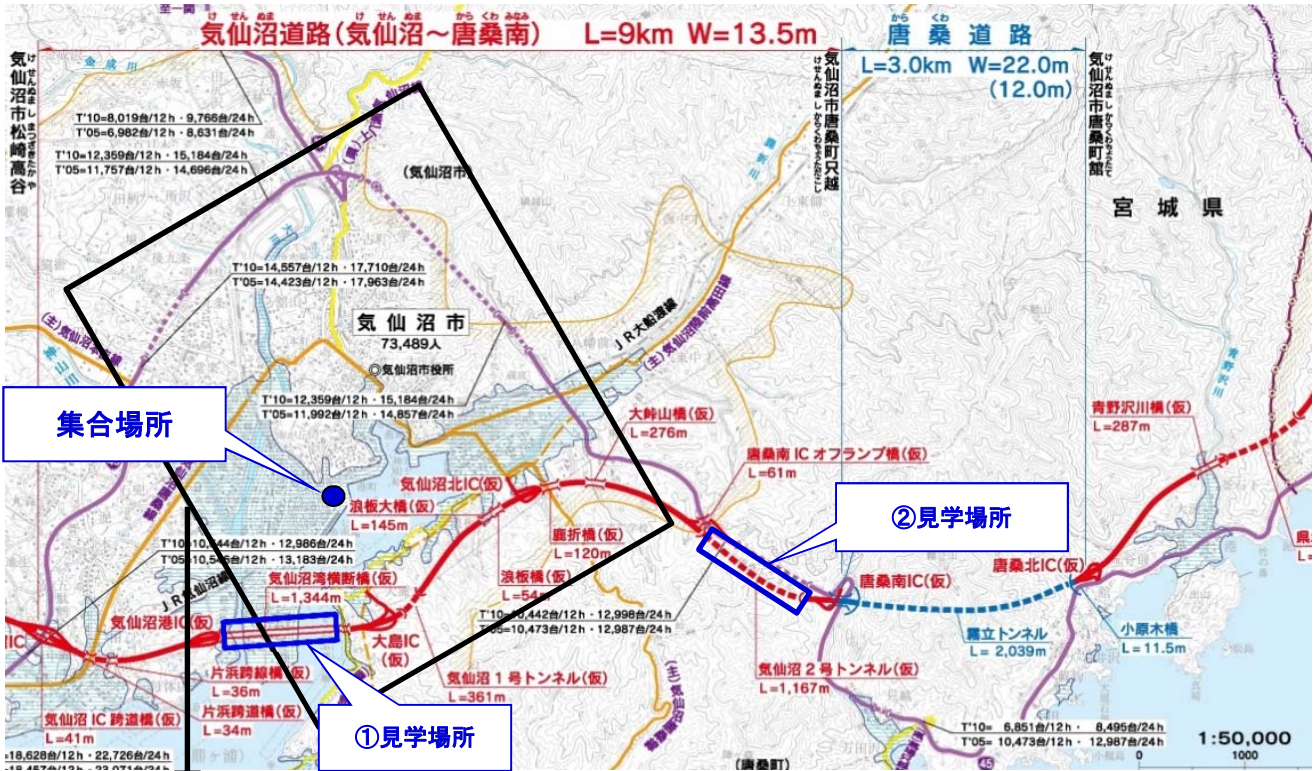
TEL 022-248-4131
副所長 田口 和弘（内線 205） 設計課長 穴戸 英雄（内線 461）

【集合場所】

海の市(シャークミュージアム) 駐車場

9時 集合

・宮城県気仙沼市魚市場前7-13



【見学場所】

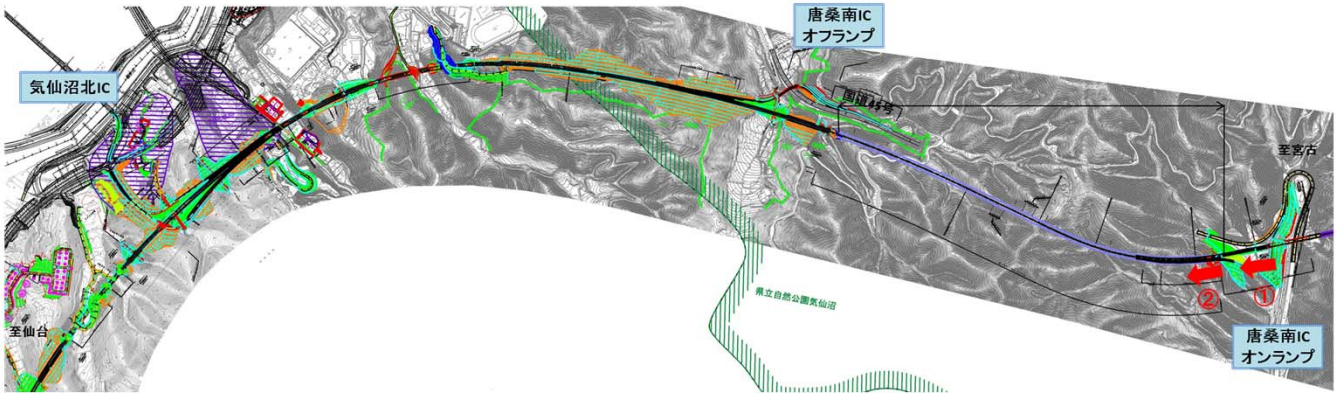
1. 気仙沼湾横断橋（延長1,344m）の見学

気仙沼港IC～大島IC ※ic名及び構造物名は全て仮称



2. 気仙沼2号トンネル（延長1,167m）の見学

気仙沼北IC～唐桑南IC ※ic名及び構造物名は全て仮称



気仙沼道路の整備効果

効果①: 災害時における緊急輸送路の確保

- ◆ 津波により国道45号等の幹線道路が通行止め
- ◆ 津波浸水域の回避により、大規模災害時でも緊急輸送路が確保され、緊急支援物資等の輸送が可能



▲ 東日本大震災発生後の道路状況



① 国道45号の被災状況



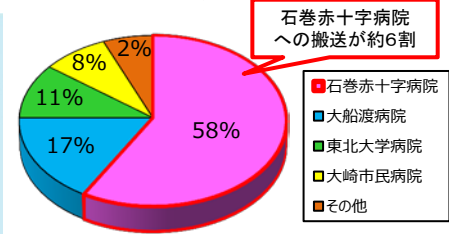
② 津波で瓦礫が山積み道路が寸断

効果②: 高次救急医療施設への速達性の確保

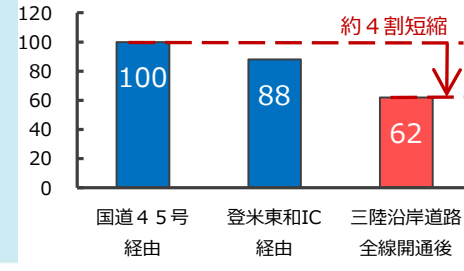
- ◆ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送は、石巻赤十字病院が約6割
- ◆ 搬送時間が約4割短縮し、迅速な救急搬送を支援



▲ 気仙沼市から石巻赤十字病院への搬送経路



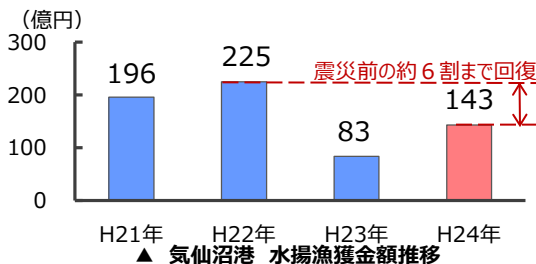
▲ 気仙沼市から高次救急医療施設への搬送割合(分)



▲ 気仙沼市から石巻赤十字病院までの所要時間

効果③: 気仙沼市の主要産業である水産業を支援

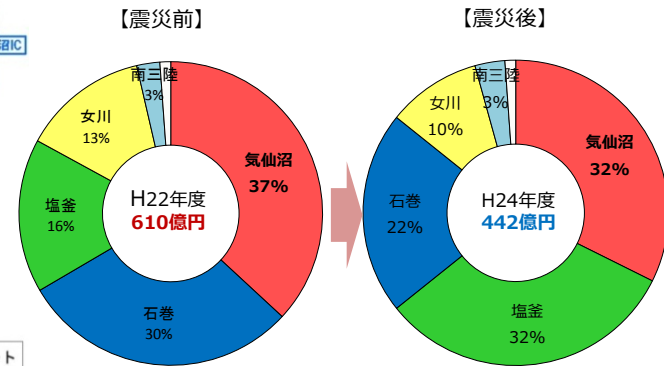
- ◆ 気仙沼港の水揚げ漁獲高は、震災以前の約6割まで回復
- ◆ 気仙沼道路の整備により、水産物等の輸送効率化・品質向上が図られ、主要産業である水産業の復興を支援



▲ 気仙沼港 水揚げ漁獲金額推移



▲ 三陸沿岸道路開通による出荷経路の変化



▲ 宮城県内の漁港別水揚げ漁獲金額のシェア